

令和2年度 第1回医療事業部研修会 (報告)

主 催 (公社)熊本県栄養士会 医療事業部

日 時 令和3年2月27日(土) 13:00~16:30

会 場 名 熊本大学病院 医学総合研究棟 3階 講習室

◇『糖尿病性腎症治療の A to Z ~基本から最新治療まで~』

講師:熊本大学病院 腎臓内科 准教授 栗原 孝成先生

新型コロナウイルス感染症予防として、初めて ZOOM を使った WEB 研修会を同時開催し実施しました。

栗原孝成先生は、熊本市 CKD(慢性腎臓病)対策推進会議のメンバーとして、「人工透析患者を減らす」ことを目標に日々活動に努めておられます。

講義前半では基礎編として、腎臓の働きと糖尿病性腎症の病期と病理学的特徴、ガイドラインに添って CKD 指導のポイントなどを詳しく教えて頂きました。透析導入原疾患割合の推移を見ると糖尿病性腎症、次いで腎硬化症となっていました。年間 4 万人が透析導入となっており、熊本市の新規導入者数は全国 2 位でした。導入平均年齢が 70.62 歳と 65 歳以上の高齢者が増えている現状がありました。指導のポイントにおいては高血圧・尿蛋白の抑制と CVD の予防のためには 6g 未満の食塩制限を推奨するが、過度の減塩は害となる可能性があるため、1日 3g までに留める必要があるとのことでした。

講義後半では最新治療編として、心腎保護効果が明らかである SGLT2 阻害薬についてのお話を中心に症例を交えながら説明されました。特に eGFR30 前後(CKD Stage3b-4)にも SGLT2 阻害薬が有効であり、SGLT2 阻害薬の効果を最大限に引き出すためには減塩指導が重要と教えて頂きました。最後に高カリウム血症の重要性と管理のポイントやメタボ・CKDにおける高尿酸血症についてのお話がありました。CKD ステージに関わらず血清カリウム値が高いほど死亡率は高値になることや高尿酸血症治療は尿蛋白減少、腎機能低下抑制に有効な可能性があることを教えて頂きました。管理栄養士・栄養士は糖尿病性腎臓病における集約的治療のひとつである生活指導に深く関わっており、CKD の発症予防・早期発見・重症化予防に向けての活動に努めていきたいと思いました。

◇連絡事項

- ・医療・福祉合同企画研修会が 6 月開催予定です。
- ・令和 2 年度~令和 3 年度の役員紹介もありました。



今回は新型コロナウイルス感染症対策を実施して、会場参加 23 名、WEB 参加 80 名の出席でした。会場からは質問や意見交換もありました。WEB 環境の不具合で会場も急遽「東病棟 12 階多目的ホール」へ変更、また途中画面が途切れるなどのご迷惑をおかけしましたが、無事に終了することが出来ました。ご講演頂きました栗原先生、誠にありがとうございました。